

Let's Know Hiroshima Castle.

しろや！ 広島城



No.52

小ネタ集

たまにはこういうのも悪くないかな、と…。



広島城の生き物～陸上編

やあ・・・
なでたい？



広島城には「はちわれさん」という猫がいます。本名は知りませんが、勝手に私たちがそう呼んでいます。結構筋肉質の堂々とした体なので、こんな食べ物のない所でどうやって生計をたてているのだろうと不思議だったのですが、これがなかなかの人気者で、いろいろな人が入れ替わり立ち代わり貢物をささげているようです。確かに、はちわれさんに甘い声で「にゃーん」と呼ばれると、猫好きはメロメロになってしまうのです。

はちわれさんの行動は謎に包まれています。時には堀に面した石垣の樋門に出入りする姿を見ます。足を滑らして堀に落ちやしないかと心配です。また、日が暮れると、道路向こうの裁判所に走っていきます。いつか車にはねられるのではと、気が気ではありません。そんな私たちの思いとは裏腹に、今日もはちわれさんは神出鬼没。くまなく城内の見回りをしているはずです。



すずめ



城内にはいろいろな渡り鳥がやってくるので、季節によっては多くのバードウォッチャーの方々が大きなカメラや双眼鏡を手に訪れます。まるでミュージカル俳優の出待ちかと思うようなこともあります。しかし、一年中いて、数では一番のスズメは見向きもされません。でも、かわいいので私は好きなのです。手なずけたわけでもないのですが、結構人懐っこい子たちもいます。手ぶらなのに「何かくれ。何かくれ。」といいながら近づいてくると、何も悪いことはしていないのに、ものすごい罪悪感に襲われます。



カラス



ある時から、私が登城するとカラスのペアがついてくるようになりました。音もなくどこからか滑空してきて目の前に降り立ち、何かを語ります。何を言っているかはわかりませんが、怒ってはいないようです。とにかく嫌われ屋のカラスですが、よく見るととてもかわいい目をしているのですよ。カラスの濡れ羽色といいますが、あれは本当ですね。ただ真っ黒ではなく、光の加減で虹色に美しく輝きます。ある朝、なりすましのペアが来たことがあります。実にさりげなく振る舞うのでつい相手をしていたら、いつもの夫婦が来て大喧嘩になりました。「なに間違えとんねん!」といわれても、なかなかカラスの顔の区別はつきません。

春から夏にかけてはカラスも巣作り、子育ての季節で、この時期はペア同士の縄張り争いが激化します。たまにお会いする愛鳥家の方に教わったのですが、あのペアは巣作りと子育てに失敗し、今は縄張りを守ることに必死なのだとか。(なぜそんなことがわかるのだ?) それでかどうか、最近は落ち着きがなく、急に飛び立ってしまうことが多くなりました。ちょっと寂しい今日この頃です。

まもなく縄張り争いの季節が落ち着いたら、今年も総動員で梨狩りをするのかな。
(恥ずかしがり屋のカラスは写真をとらせてくれませんでした。)

「しろや48号」～ナシが消えたなっしー参照

ちょっとだけ自慢

りっけいくん登場

このたび、天守の第4層に新しい展示ケース「りっけいくん」が3台設置されました。背の高い独立ケースです。老朽化が進んでいた前任の独立ケースは、少なくとも昭和50年代ものといわれていますが、導入当時のことを知る人はだれもいません。りっけいくんのアピールポイントは、なんととっても全面がガラスだということ。4面のどこからでも中の資料を見ることができます。それから、エアタイトケースといって、ケース内の湿度を一定に保つ、資料にとってもうれしい仕様になっています。それほど自慢することでもないだろう!といわれそうですが、うちにとってはすごいことなのです。自慢させてください。

うれしくて、さっそくケースを斜めに置いて、後ろもよく見えるアピールを試みました。未永く、りっけいくんをかわいがってください。でも、くれぐれもガラスに手や顔の脂をつけないようにお願いします。

おおっ! 甲冑の背中が見えるでござるよ。



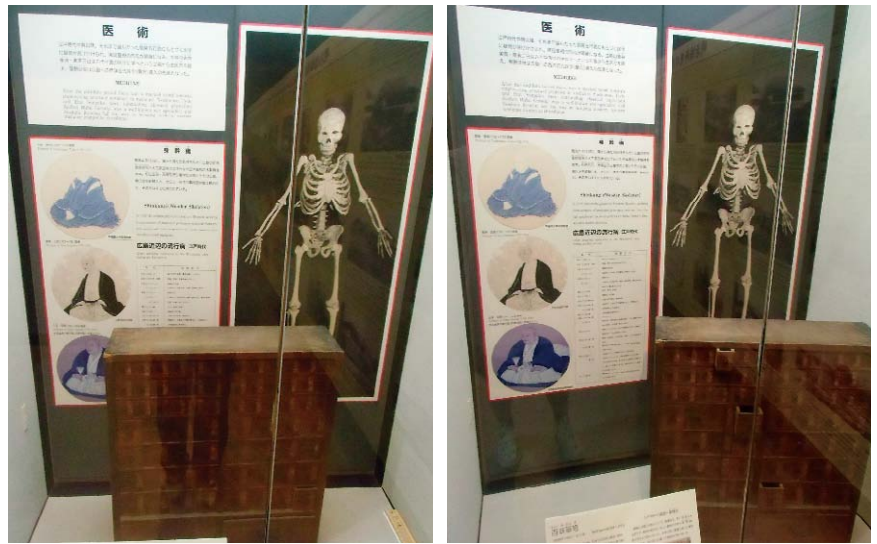
通りすがりの吉川元春様も絶賛

反省文

展示ミス

何かと話題の学芸員。やらかしました(私じゃない)。ここで正直に告白いたします。

第2層に広島県の医学を紹介する展示ケースがあります。この中には「^{ひやくみだんす}百味筆筒」があるのですが、^{くんじょう}燻蒸してケースにもどす際に、設置場所がずれてしまいました。そのせいで壁面のパネルの字が一部隠れて読めなくなったのです。お客様の指摘で気づくという、なんともお恥ずかしい事態に。以後、一同襟を正して任務に励みたいと思います。



よくある質問

石垣あるある

広島城天守の玄関に入って正面に石垣があります。よくお客様に「これなに？」と聞かれます。建物の中に入ったはずなのに石垣？確かに不思議な光景かもしれません。正直に言います。私も最初は「こんなところに石垣のモニュメント？なんで？」と思っていました。そもそも、広島城の天守は5層5階(つまり5階建て)ですが、玄関の部分を入れて6階建てにも見えてしまいます。

本来、天守の南には渡櫓が付き、南の小天守につながっていました。その渡櫓を途中で切って、今は入口になっているような形です。天守が建っている石垣(天守台)の前に入口の建物がくっついていてと思ってください。これ自体は天守ではなく、階に数えませんが、ですから、階段を上ったところが第1層となります。そんなわけで、今何階にいるのか悩むお客様もいらっしゃいますが、あくまでも天守台の上から第1層となっています。言葉で説明してもわかりにくいのですが、外に出て眺めると一目瞭然です。

ところで、玄関内のカキ殻あるあるもお伝えしておきましょう。広島城の石垣の石材は、近くの海岸や島から運んできたものが多いからです。カキ殻やフジツボなどが付着した石は城内各所に隠れています。是非探してみてください。見つけた人には「でかした」スタンプを差し上げます。



広島城七不思議その3か？

謎の麻袋

天守西側帯郭の、ある木の幹に、大きなドンゴロスのようなものが麻ひもで巻き付いているのを発見しました。こんなものなかったはずなのに、一体いつのまに？何者が？なんの企みで？何かのまじないか。呪いの麻袋か。はたまた何かの隠れ家か。正直気持ちの良いものではありません。謎の麻袋、広島城七不思議その3に認定か？！

謎はすぐに解けました。この木の洞にスズメバチが巣を作っていたので、業者が駆除したのだそうです。そして、再び同じ場所に巣作りしないように、麻袋を巻き付けたことがわかりました。もう少し気の利いたやり方はなかったのでしょうか。これけっこう不気味です。

残念ですが不認定といたします。



いやあ
広島城は実に興味深いにゃ

最後にちょっと宣伝

新ノベルティ

広島城オリジナルのしおりとステッカーが誕生しました。6月4日に実施した「広島城メモリアルデー」でのイベント参加ノベルティとして作ったものです。しおりはなんと両面刷りの豪華版です。来城記念として皆さんに喜んでいただけました。実はちょっと余りました。もったいないので、これからいろいろなイベントの際にお配りすることにしました。いつ、どんな形で配るかはわかりませんがチャンスはまだある。でも、いつまでもあると思うなノベルティ。学芸員の気まぐれもあるかもしれません。ゲットするためには、まずは広島城のイベントをこまめにチェックです！（本号の担当 岡野孝子）



どれにしようか？



しろや
！
広島城

編集・発行

公益財団法人広島市文化財団
広島城

〒730-0011
広島市中区基町 21-1
電話：082-221-7512
FAX：082-221-7519

平成29年6月14日発行

広島城利用案内

開館時間：9：00～18：00

(12月～2月は9：00～17：00)

入館の受付は閉館の30分前まで

観覧料：大人370円(280円)

高校生相当・シニア(65歳以上)180円(100円)

()内は30名以上の団体料金

休館日：12月29日～31日(臨時休館あり)

ホームページ <http://www.rijo-castle.jp>

「しろや!広島城」のバックナンバーは、広島城のホームページ (<http://www.rijo-castle.jp>) からダウンロードできます